

大高定時便



毎年のボランティア活動



七月十三日(水)正門周辺を中心
にボランティア活動を行いました。
これは「長崎っ子の心を見つめる
教育週間」の取り組みの一環として
生徒・保護者・教職員が一丸となつて
地域清掃を行い、社会に貢献する
態度を養うことを目的としています。

今年(今年)は国道脇植栽の除草作業というこ
で、道路に関するクイズや道路緑化など
について学習を行いました。その後、全学年で
三十四号線の植え込みの除草作業に取りか
かりました。長崎河川国道事務所大村維持出張
所の協力を得ながら、熱中症及び安全対策に
十分に注意して約一時間の作業を行いました。
自分たちの町を掃除したことにより、美化
意識が高まり、清々しい気持ちになりました。
最後に、全員に冷たいジュースが配付され、
充実したボランティア活動は終了しました。
近隣の住民からは「いつも気になっていた
のだが、なかなか除草できずにいた。定時制
の皆さんで除草していただき、本当にありが
とございました」と、お礼の電話が学校に
ありました。

これからも地域に愛される定時制を目指し
て頑張っていきます。

生活体験発表会



七月十九日(火)本館五階、視聴覚室
において生活体験発表が行われました。
審査委員としてETA会長の山下様、同
窓会会長の松村様、育友会会長の西村様
が参加されました。また、一年生の保護
者二名も観覧されました。

今年(今年)は九名の発表で、充実した内容の
発表が多くあり、引き締まった発表会と
なりました。学校生活で感じたこと、中
学校時代の辛い体験、自分自身のこと、
将来の目標や希望など、緊張しながらも
しっかりと自分の言葉で発表しました。

ゲーム依存対策講座

七月十二日(火)にゲーム依存対策
講座が、第一学年の教室で行われまし
た。これは「心身の健康に関する調
査」によりゲームを四時間以上行つて
いる生徒が十三名いることが分かり、
何らかの対策を講じておく必要がある
との考えから計画されました。

長崎こども・女性・障害者支援セン
ターから中村様と下司様、県央保健所
から阿野様の三名をお招きして「いま
知ってほしいゲーム依存症のこと」と
題して講座を実施しました。長崎県の
学生のゲーム事情や、やりすぎと依存
の境目、依存症は脳の病気であるなど

火災避難訓練



六月十四日(火)三校時に火災避
難訓練を実施しました。今回は、日
頃利用しない非常階段を使つての訓
練となりました。生徒の中には「非
常階段を下るのが怖い」という声も
ありましたが、スムーズに避難がさ
れました。

今回の訓練について烏山教頭から
は、「慌てることなく、速やかな避
難ができた。今回は職員が誘導した
が、いざという時は、自分たちで避
難ができるようになって欲しい」と
の講評がありました。

「自分の命は自分で守る」そのた
めには、日頃からの訓練がとても大
切であると改めて実感しました。

生徒総会



六月九日(木)に生徒総会が行われ
ました。生徒会長の中原君があいさつを
した後に議長の選出があり、四年栗島君
と三年山口君が選出され、議事の進行を
務めました。

生徒会執行部より令和三年度の経過報
告と決算報告があり、全会一致で承認さ
れました。次に令和四年度の活動方針と
活動計画、予算が審議されました。バド
ミントン部より部費を増額して欲しいと
の要望があり、前向きに検討するとい
うことで、審議内容は承認されました。
その他、様々な意見や要望が出されまし
た。採決の結果、賛同は得られませんで



詳しく説明されました。
また、スクリーンングテストでゲーム
依存の傾向にあるかどうかの確認もしま
した。最後に、依存症から抜け出すには
「ネットやゲームの優先度を二番目以下
にする」「規則正しい生活が大切である
」というお話で締めくくられました。

審査の結果、上妻君、相田君、福島君
の三名が優秀賞に選ばれました。また、
三年生の相田君が十月二日(日)に長崎
市で行われる県大会に、本校定時制の代
表として参加することになりました。県
大会でも益々の活躍を期待しています。

- 発表者と演題は次のとおりです。
- 一 丸岡 伊織(二年)「私の体について」
 - 二 西川歩由夢(四年)「自分の趣味」
 - 三 福田かえで(一年)「前に進む理由」
 - 四 上妻 優也(三年)「学校ルール」
 - 五 大平 永三(三年)「自由自在な〇〇」
 - 六 相田 晃輔(三年)「継続力と結果」
 - 七 木村 陽香(四年)「定時制で学んだこと」
 - 八 福島 希望(一年)「今までとこれから」
 - 九 中村 勇樹(一年)「勉強の克服で得られ
たもの」

定通大会終える

六月十二日(日)に令和四年度全国高等学校定時通信制体育大会長崎県予選大会が、佐世保工業高校・佐世保中央高校をメイン会場として、開催されました。

本校からは、バドミントン競技に男子四名、卓球競技に男子一名が出場しました。バドミントン個人では、樋渡君が三回戦まで進み、ベスト8となりました。

試合成果は次のとおりです。

卓球個人 山口 一回戦敗退
バドミントン団体 二回戦敗退
バドミントン個人 樋渡 三回戦敗退 宮垣 二回戦敗退



定通大会壮行式

六月十日(金)に第一体育館で壮行式が行われました。原 昌紀校長からの激励のあいさつがあり、その後、生徒会長である四年の中原君から「これまでの練習の成果と自分を信じて、最後まで頑張るぞ」と励ましの言葉がありました。

生徒会長のあいさつ後に、原校長から三年山口君に団旗が手渡され、選手を代表して、バドミントン部主将、四年宮垣君が力強く選手宣誓を行いました。



交通・二輪車講習会

七月十四日(木)に交通講話と二輪車講習会が、それぞれ視聴覚室と太陽教室で行われました。交通講話の講師は、大村警察署交通課巡査長の松田ゆり子様でした。

特に印象的だったのは、飲酒運転で事故を起こした内容のDVDで、とてもリアルで、仕事や家庭を失っていく様子は、怖さを感じました。最後に生徒を代表して、三年生の佐賀里君が、お礼の言葉を述べ講話を終りました。



バス停に電灯がつく

大高正門前、国道三十四号線、リンガーハット側の公園入口バス停に電灯が付きました。以前より定時制の生徒からバス停が暗くて怖いので電灯をつけて欲しいとの要望が上がっていました。

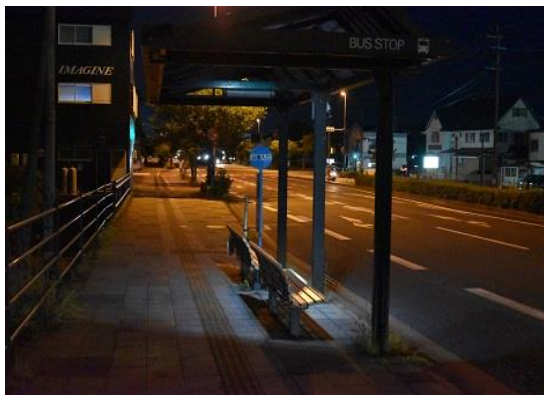
学校としても様々な関係機関に問い合わせや相談をしていましたが、このたび外浦小路町内会様のご尽力により、「ソーラー発電式人感センサーライト」が設置されました。生徒たちの要望から約二年経ちましたが、これで生徒たちは安心してバス停を利用できるようになりました。外浦小路町内会の皆様、本当にありがとうございました。



(屋外ソーラーパネル)



(人感センサーライト)



(明るくなったバス停)

つぶやき

「困っているときは、お互い様」「受けた恩は、お返しする」との理念で島原ボランティア協議会を設立し、中心となって活動を続けてこられた宮本秀利氏(雲仙市瑞穂町、造園業)が七月十二日、病気のため死去された。一九九一年六月に発生した雲仙普賢岳災害では、全国からたくさんの方々の支援を受けた。宮本氏が立ち上げた同協議会は「全国から受けた貴重な支援の恩を決して忘れてはいけない。受けた恩は返すのが筋である」との理念で、恩返しボランティア活動を、三十年以上も続けている団体である。

私が同協議会の活動を知ったのは、二〇一一年東日本大震災の年であった。同協議会と一緒に、宮城県南三陸町へ災害ボランティアに参加したのが縁だった。活動理念に共感し感銘を受け、ボランティア活動をするきっかけとなった。

今年の春に、大高正門前、国道三十四号線公園入口バス停に電灯が設置された。その経緯は詳しくはわからないが、外浦小路町内会様のご尽力があつたことだと、長崎河川国道事務所の方から伺った。「困っている生徒たちのために」と設置されたと推察している。そのお礼ではないが、今年の生徒たちのボランティア活動は、国道植栽の除草作業であった。「困っているときは、お互い様」「お互い持ちつ持たれつ」「受けた恩は返す」これからも大切にしたいと思う。

これからの主な行事

- 職場訪問・三者面談 七月二十一日(木) ~ 二十九日(金)
- 平和登校日 八月 九日(火)
- 学校閉庁日 八月 十日(水) ~ 十五日(月)
- 第二学期始業式 二十五日(木)
- 秋の面談期間 二十六日(金) ~ 九月二日(金)